

平成 29 年度

ラダー・初心者教育内容

研修の目的

1. 基本的な看護実践が安全・安楽に実践できるよう知識、技術、態度を学ぶ。
2. チームメンバーの役割を学ぶ。
3. 専門職として看護実践にいかすため主体的に学ぶ。

時期	目標、ねらい	内 容
新卒者研修 I 4/6 (木) 4/7 (金) 4/10 (月) <3 日間>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的看護技術の知識・技術・態度を実践レベルで学ぶ。 2. 専門職として働く上での心構えができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・病院・看護部組織を知る。 ・社会人としてのマナーを修得する。 ・新人教育計画を理解し、自己の成長・目標をイメージする。 ・プリセプターシップ、支援体制を理解する。 ・看護場面での安全管理の方法・必要性を修得する。 ・感染防止の方法・必要性を修得する。 ・薬剤の基礎的な知識を習得する。 ・演習で基本的看護技術の知識の再確認と技術の修得をする。 オムツ交換、口腔ケア、移乗、採血、静脈注射、点滴静脈注射、褥瘡予防・ポジショニングなど	講義、演習、グループワークを適宜実施 <ul style="list-style-type: none"> ・看護部の理解 ・新人研修教育計画、プリセプターシップ ・個人目標ファイルの活用 ・感染管理 ・排泄援助におけるオムツの適切な使用 ・褥瘡予防 ・薬剤の基礎知識 ・転倒転落予防、移乗 ・社会人としてのマナー ・静脈注射の指針、法的責任について ・安全で確実な与薬 ・口腔ケア ・採血 ・注射(ワンショット、点滴静脈注射) ※SBAR の報告に必要性 ※ケアリングの復習 ※1年後のゴール目標 評価：受講態度、アンケート、レポート
新卒者研修 II 5/19 (金) <1 日>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護記録の目的を理解し、看護記録基準・手順に沿った看護の適切な記録方法を学ぶ。 2. 重症度、医療・看護必要度を理解し、適切な評価と記録方法を学ぶ。 3. 基本的看護技術の知識・技術・態度を実践レベルで学ぶ。 一時的吸引・酸素療法・・・など 	講義、演習、グループワークを適宜実施 <ul style="list-style-type: none"> ・看護必要度 ・看護記録 ・一時的吸引・酸素療法・・・など ・e-ラーニング (フィジカルアセスメントを進める) (導尿、膀胱留置カテーテルの挿入と管理) (薬剤について 説明する時・使う時) 評価：受講態度、レポート、アンケート

時期	目標、ねらい	内 容
プリセプター プリセプティ合同研修 6/2(金) <半日>	1. プリセプターは、プリセプティの個性とそれに合わせた関わり方がわかる。 2. プリセプティは、自己の傾向を理解し、看護師として成長するための課題がわかる。	プリセプティとプリセプターと一緒に看護を行い、学びを通して、今後の自分の目指す看護と照らし合わせる。 評価：受講態度、レポート、アンケート
教育専従者面接	・現状報告と不安や悩みの表出	年 2～3 回実施する(6 月、11 月、必要時)
新卒者研修 III 6/16 (金) <1 日>	1. 基本的看護技術の知識・技術・態度を実践レベルで学ぶ。 ・安全で確実な与薬。 ・安全で確実な指示受け。 ・マニュアルに沿って摂食嚥下、NST に関する知識、技術を修得する。 2. ハイリスクな薬剤に関する基本的知識を修得する。 3. 3 か月を振り返り課題を整理し、目標が表出できる。	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・安全な与薬 ・安全な指示受け ・摂食嚥下訓練に関する一連のフロー ・NST に関すること ・薬の知識②(救急薬品、循環動態に影響する薬剤、ハイリスク薬、麻薬の取り扱い) ・3 か月のリフレクション 評価：受講態度、レポート、アンケート
医療機器安全研修 4/12(水) 5/12(金) 6/6(火) 6/20(火) <PM>	1. 医療機器の適正使用に関する知識と技術の習得。	講義、演習 ・ME センターの業務と機械の貸出・返却 ・病院における電気と医療ガス設備 ・酸素療器具の正しい取扱い ・生体情報モニター、パルスオキシメーターに関する原理、使用上の注意 ・輸液ポンプ、シリンジポンプ、除細動器、低圧持続吸引器、マスク型人工呼吸器・・・など 評価：アンケート
外来体験 6～7 月中	1. 外来受診時の患者の理解を深める。 2. 外来で行われている看護を学ぶ。 3. 地域で暮らす患者への継続看護を考えることができる。	体験研修：外来看護をプリセプターと共に体験する。 評価：終了後レポート、アンケート

時期	目標、ねらい	内 容
新卒者研修 IV 7/14 (金) <1日>	1. 正しい看護技術の実践と、優先順位を考えた行動ができる。 2. 輸血療法に必要な基本的な知識、技術、態度を学ぶ。	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・多重課題シミュレーション ・輸血療法 (血液製剤の取り扱い上の注意点、管理法、実施方法、副作用時の対処) ・eラーニング (今どきのバイタルサインの評価方法) 評価：受講態度、レポート、アンケート
新卒者研修 V 8/18 (金) <1日>	1. 看護過程の概念を理解し、情報を整理し看の方向性を考えることができる。 ・患者・家族と共に看護の目標、計画、実践、評価ができる。 2. 基本的看護技術の知識・技術・態度を実践レベルで学ぶ。 エンゼルケアなど	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・看護過程とは ・看護過程の展開の方法 ・患者と共に立てる看護計画の理解 ・看護の評価をする ・エンゼルケア ・eラーニング (死後のケア、エンゼルケアの基本) 評価：受講態度、レポート、アンケート
検査見学 8~9月	1. 検査を受ける患者の看護を学ぶことができる。 ・検査を受ける患者への看護師の対応や声掛けを学ぶ。 ・検査を受ける患者心理を考える。	プリセプターと共に、レントゲン・内視鏡などの検査前・検査中・検査後を行動し、検査を受ける患者への声掛けや、説明、気配りなど看護を学ぶ。 検査中の患者の反応を実感する。 評価：レポート、アンケート
新卒者研修 VI 9/15 (金) <1日>	1. 緊急時における看護師の役割と基本的対応、態度を学ぶ。 ・急変時のアセスメントができる。 ・患者急変時に、他のスタッフの指時を受けて行動をとることができる。 ・救急蘇生の知識・技術・態度を修得する。 ・SBAR を用いて報告・連絡・相談ができる。	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・急変時シミュレーション ・救急カート、AED の取扱い ・挿管介助、バックバルブマスクの組み立て、意識レベル確認、気道確保、心臓マッサージ、人工呼吸・・・など ・eラーニング (輸液管理と I N O U T バランス) (新ガイドラインで読み解く心肺蘇生) 評価：受講態度、レポート、アンケート

時期	目標、ねらい	内 容
新卒者研修 VII 10/20 (金) <1日>	1. 糖尿病を理解し基本的看護を学ぶ。 2. メンバーシップを理解し、チームの一員として協働するための具体的な行動を考える。 3. 6カ月の振り返り課題を整理し、目標が表出できる。	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・糖尿病看護 ・メンバーシップの理解 ・半年経過のリフレクション ・eラーニング (見逃さない！心電図の異常波形) 評価：受講態度、レポート、アンケート
新卒者研修 VIII 11/17 (金) <1日>	1. 看護場面における感染対策を学ぶ。 2. 患者・家族対応を接遇の視点から学ぶ。 3. がん化学療法看護の基本的知識・技術・態度を学ぶ。 4. 基本的看護技術の知識・技術・態度を実践レベルで学ぶ。 K Y T など	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・感染対策 (滅菌物の取り扱い、ガウンテクニックなど) ・がん化学療法看護 (薬剤の取り扱い、副作用対応、レジメンの理解、観察) ・医療現場での接遇(患者サービス) ・K Y T 評価：受講態度、レポート、アンケート
新卒者研修 IX 1/19 (金) <1日>	1. 医療安全推進活動を理解し、自己の行動に取り入れることができる。 2. 感染防止策を学ぶ。 3. 認知症の理解と看護を学ぶ。 4. 看護実践と看護倫理を学ぶ。	講義、演習、グループワークを適宜実施 ・安全対策、事故防止 ・感染防止 (ノロ対策、血流感染、N95 マスクなど) ・高齢者の特徴、認知症の理解と看護 ・ケアとケアリング、看護倫理の理解 評価：受講態度、レポート、アンケート
新卒者研修 X 3/16 (金) <1日>	1. 次年度に向け、課題を整理し目標を表出できる。 ・1年の振り返りができる ・看護観を語る事ができる	グループワーク、発表 評価：参加態度、レポート、アンケート

平成 29 年度 医療機器安全管理研修

1. 目的：医療機器の適正使用に関する知識と技術の習得
2. 参加者：新卒看護師及び新入職看護師希望者
3. 会場：2階講堂
4. 開催日程と内容

日 時	内 容
平成 29 年 4 月 18 日(火) 13 : 15~16 : 00	<ul style="list-style-type: none"> ・ MEセンターの業務と機器の貸出・返却について ・ 病院における電気と医療ガス設備、医療ガスボンベの正しい取り扱い ・ 酸素療器具の正しい取り扱いと酸素流量計の取り扱い
平成 29 年 5 月 12 日(金) 13 : 15~17 : 00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生体情報モニターとパルスオキシメーターについて 「原理、使用上の注意点、アラームなど」実技 ・ 除細動装置の原理と正しい使い方（実技）
平成 29 年 6 月 6 日(火) 13 : 15~17 : 00	<ul style="list-style-type: none"> ・ フットポンプ（深部静脈血栓症の予防）実際の装着体験 装着の原理とアラーム対応 ・ 低圧持続吸引器の取り扱いと操作（実技） ・ マスク型人工呼吸器の原理、観察点、操作、確認
平成 29 年 6 月 20 日(火) 13 : 15~17 : 00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸液ポンプの原理と取り扱いについて（実技） ・ シリンジポンプの原理と取り扱いについて（実技）

平成 29 年度 新人面接

- 目的：1. 職場適応状況を確認する
2. リアリティショックの状況把握と OJT の進捗状況把握
 3. 不安・悩みの表出、健康状態チェック

時期・回数：2～3回／年 6月、11月、必要時